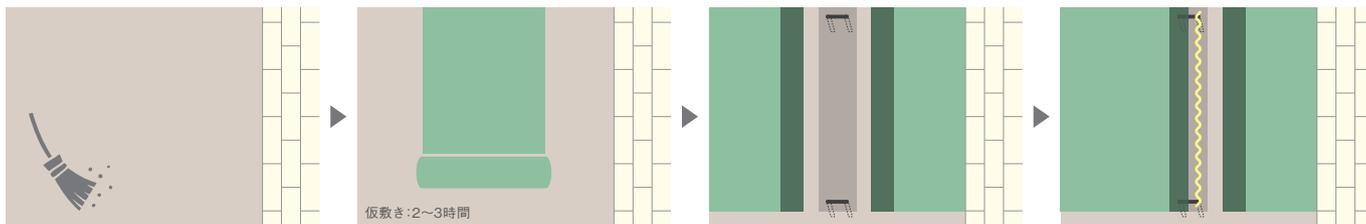


人工芝の施工方法

下地が土の場合



01 下地の調整

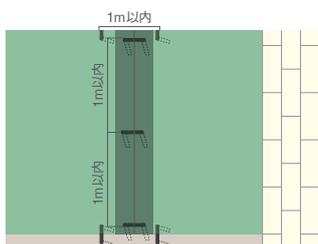
- ①下地の状態を確認します。
- ②土壌流出など下地に不安がある場合は、碎石を敷くなど地盤改良をしてください。
- ③基盤の清掃、整地。(石、雑草、ゴミの除去)
- ④整地後、しっかり下地を転圧してください。

02 人工芝の仮敷き／ジョイントシート敷き

- ①ロール状の人工芝はテンションをかけ巻き上げるため、長さ方向に伸びています。通常の長さに戻すため、広げて2～3時間仮敷きしてください。⚠️複数枚人工芝を設置する際、芝の流れの向きを必ず確認してください。芝の流れが異なると、色合いなどが違って見えます
- ②現場の形状に合わせカットしてください。(サイズは表記寸法より大きい場合があります)
- ③ジョイント部の位置を決め、人工芝をめくりジョイントシートを敷き両端をU型目串で固定します。

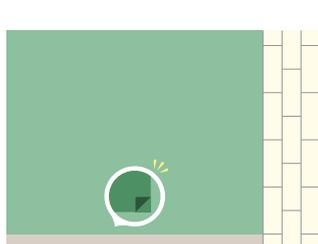
03 ジョイントシート接着固定

- ①人工芝用接着剤を塗布します。
- ②ジョイント部を接着します。両端をつまみ貼り合わせることで芝が巻き込まれず接着ができます。



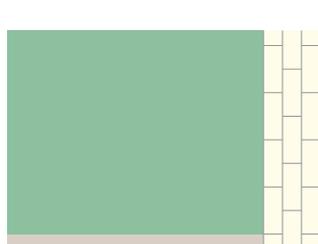
04 U型目串で固定

- ①ジョイント接着後、人工芝端部をU型目串で固定します。
- ②芝を挟まないよう、U型目串を1m以内ごとに1本固定します。



05 点検・補修

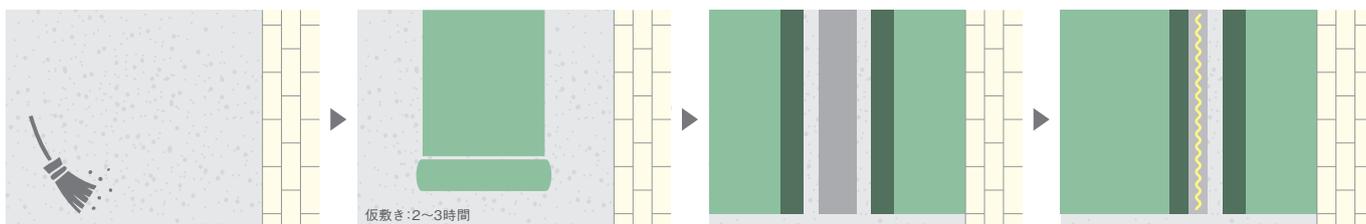
- ①貼り残しや端部などのめくれやすい箇所がないかなど、最終チェックを行います。
- ②しっかり綺麗に接着されているのを確認し養生へ進みます。



06 養生

- ①施工後、特にシワがついている箇所がある場合はしっかりと伸ばし、浮きが見受けられる場合は、しっかりと圧着してください。
- ②季節にもよりますが、接着剤の養生期間は約1日を目安にしてください。

下地がコンクリート、アスファルト、モルタルの場合



01 下地の調整

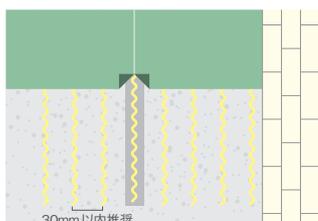
- ①基盤の清掃を行います。接着を妨げる要因となる小さな砂や埃を除去します。
- ②突起物、穴あき等をチェックし必要な場合は補修します。

02 人工芝の仮敷き／ジョイントシート敷き

- ①ロール状の人工芝はテンションをかけ巻き上げるため、長さ方向に伸びています。通常の長さに戻すため、広げて2～3時間仮敷きしてください。⚠️複数枚人工芝を設置する際、芝の流れの向きを必ず確認してください。芝の流れが異なると、色合いなどが違って見えます
- ②現場の形状に合わせカットしてください。(サイズは表記寸法より大きい場合があります)
- ③ジョイント部の位置を決め、下地をよく乾燥させてからジョイントシートを敷いてください。

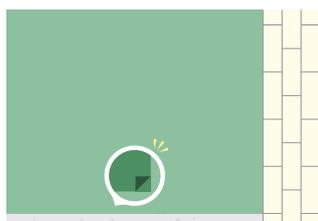
03 ジョイントシート接着固定

- ①人工芝用接着剤を塗布します。
- ②ジョイント部を接着します。両端をつまみ貼り合わせることで芝が巻き込まれず接着ができます。



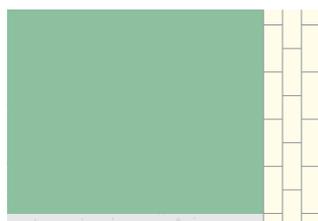
04 人工芝用接着剤で固定

- ①ジョイント接着後、人工芝広域に人工芝用接着剤を塗布します。
 - 塗布量目安:0.5kg/m²(全面塗布の場合)
 - 貼り合わせ可能時間:40分以内(養生期間約1日)



05 点検・補修

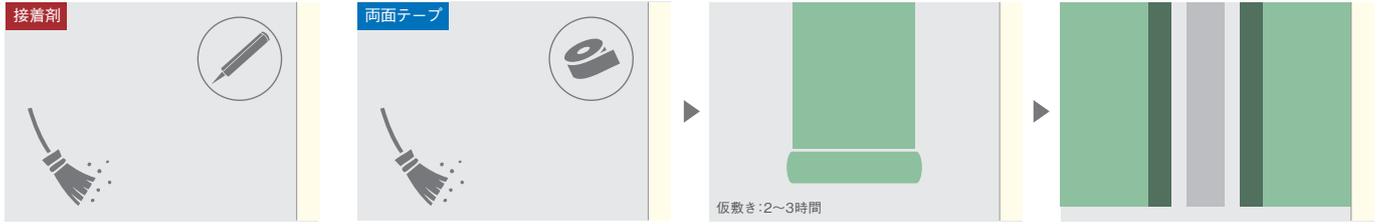
- ①貼り残しや端部などのめくれやすい箇所がないかなど、最終チェックを行います。
- ②しっかり綺麗に接着されているのを確認し養生へ進みます。



06 養生

- ①施工後、特にシワがついている箇所がある場合はしっかりと伸ばし、浮きが見受けられる場合は、しっかりと圧着してください。
- ②季節にもよりますが、接着剤の養生期間は約1日を目安にしてください。

下地が防水層の場合



01 下地の調整

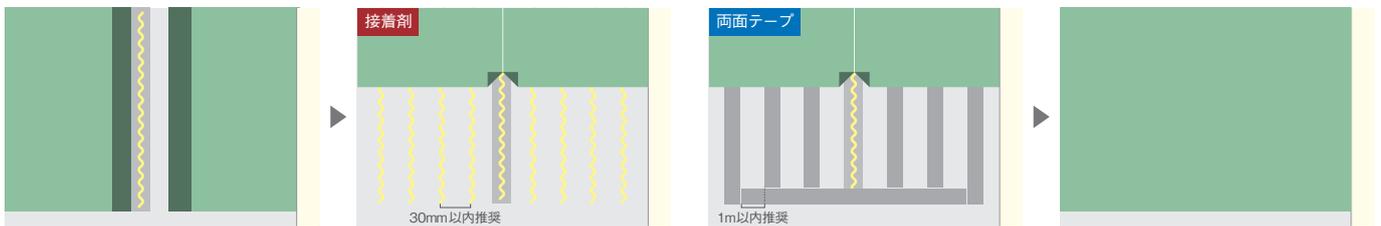
- ① 基盤の清掃を行います。接着を妨げる要因となる小さな砂や埃を除去します。
- ② 接着施工は人工芝を剥がす際、防水層を傷つける可能性があるため、必ずお施主様へご確認ください。

01 下地の調整

- ① 基盤の清掃を行います。接着を妨げる要因となる小さな砂や埃を除去します。
- ② 両面テープによる簡易固定施工は、防水層の負担を軽減できます。野外用下地材に適した両面テープをご用意ください。

02 人工芝の仮敷き／ジョイントシート敷き

- ① ロール状の人工芝はテンションをかけ巻き上げるため、長さ方向に伸びています。通常の長さに戻すため、広げて2~3時間仮敷きしてください。⚠️ 複数枚人工芝を設置する際、芝の流れの向きを必ず確認してください。芝の流れが異なると、色合いなどが違って見えます。
- ② 現場の形状に合わせカットしてください。(サイズは表記寸法より大きい場合があります)
- ③ ジョイント部の位置を決め、下地をよく乾燥させてからジョイントシートを敷いてください。



03 ジョイント接着固定

- ① 人工芝用接着剤を塗布します。
- ② ジョイント部を接着します。両端をつまみ貼り合わせることで芝が巻き込まれず接着ができます。

04 人工芝用接着剤で固定

- ① ジョイント接着後、人工芝広域に人工芝用接着剤を塗布します。
 - 塗布量目安: 0.5kg/m² (全面塗布の場合)
 - 貼り合わせ可能時間: 40分以内 (養生期間約1日)

04 両面テープで袋貼り

- ① 人工芝の周囲と、水勾配の向きに沿って、縦方向に両面テープを貼ります。
 - テープ貼り間隔: 1m間隔(目安)
 - ※ 人工芝を敷いた後、強く押さえてください。

05 点検・補修／養生

- ① 施工後、特にシワがついている箇所がある場合はしっかりと伸ばし、浮きが見受けられる場合は、しっかりと圧着してください。
- ② 季節にもよりますが、接着剤の養生期間は約1日を目安にしてください。

⚠️ 下地が土の場合

- 繁殖力の強い雑草が生える可能性がある場合は、防草シートを敷いてから人工芝を施工することをおすすめします。
- 地盤補強として碎石を敷き詰める場合は、U型目車で固定できるような碎石層5cm程度を目安に施工をしてください。

下地が防水層の場合(接着剤)

- 接着剤を使用し固定すると人工芝を剥がす際、防水層に傷をつける可能性があります。防水保証対象となる下地に接着した場合、メンテナンスや塗り替え補修時に、保証対象外の損傷となりかねませんので、防水層への接着施工は十分ご注意ください。

共通の注意

- 接着剤で固定する場合は、接着剤を勾配に対して平行にムラがないよう塗布してください。
- 磁器質タイル、断熱発泡材は接着剤使用不可の下地です。

人工芝の使用上の注意

- 人工芝は材質上、夏の暑さや冬場の寒さにより、長さに対して約1%程度伸縮する可能性があります。また、光の反射による局所的な熱など、設置環境や条件によって芝(パイル)が伸縮する場合があります。
- 溶剤・溶液の直接散布は芝の劣化につながりますので、薬品散布はおやめください。
- 接着剤をご使用の場合は本体貼りの前に、一度接着確認をお願いします。

下地がコンクリート、アスファルト、モルタルの場合

- 透水性のあるコンクリートやアスファルトは、全面に接着剤を塗布すると透水効果が失われてしまいますので施工前に必ずご確認ください。透水性のある下地へ施工する場合は、接着剤による袋貼り施工を推奨します。
- 接着剤に触れて粘着性があるうちは貼り合わせが可能です。

下地が防水層の場合(両面テープ)

- 両面テープによる袋貼り施工は防水層を傷つけないための簡易固定施工です。基布に使用している樹脂の伸縮性質により、シワや縮みが生じる可能性がありますので、ご了承ください。

- 人工芝の上ではタバコやガスコンロなど火気の取り扱いにはご注意ください。人工芝が溶ける恐れがあります。また、転倒時やスライディングなど、芝の上で滑ると擦過傷、ヤケドの恐れがあります。ご注意ください。
- 人工芝の上で重量物を引き摺ったり、そり滑り目的などではご使用しないでください。芝の抜きなど劣化を早めます。

メンテナンスについて

- 普段のゴミやホコリはカーペット同様に掃除機で吸い取ってください。
- 油汚れやガムなどがついた場合は、クリーニング店で用いるドライクリーニング液(パークロールエチレン)を布につけて拭き取ってください。

- 鉄錆がついた場合は、3%シュウ酸液を布につけて拭き取り、水洗いしてください。シュウ酸液は薬局で入手できます。